

『通いの場』通信



Vol.06

平成29年10月1日発行

第3回支え合いのまちづくりフォーラムを開催しました！

住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしたい。自分らしい暮らしとは・・・。

一人ひとりの社会参加と活躍で、元気な地域・支え合いの社会の実現を目指してみんなで一緒に、できることを考えてみる支え合いのまちづくりフォーラムを8月20日（日）にくらしき健康福祉プラザで開催しました。

第一部は「あなたにもできる ちょっとしたこと」と題し、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンターの理事長池田昌弘氏と倉敷市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターの松岡武司が対談形式で話し合いを行いました。

サロン活動や生活支援の仕組みづくりを進めるなかで、担い手に求められていることや地域の方々の元気な活躍の様子などを紹介し、来場者のアンケートからは、「もっとお話を聞きたかった」というありがたいお声も



壇上左：池田 昌弘氏 壇上右：松岡 武司

いただきました。たくさんの方々にご来場いただき、まことにありがとうございました。

支え合い活動発表会！

第二部は「地域をつなぐ 暮らしを彩る 支え合い」と題し、三組の地域の支え合い活動実践者に発表をしていただきました！

いきいきポイントに登録され、地域でボランティア活動をされている大塚氏、生活・介護支援サポーター養成講座を受講された後、倉敷たすけあいサービスに登録し、地域で生活支援の活動をされている横山氏、スポーツ推進委員として地域へスポーツの楽しさを広めている三宅氏に日頃の地域での活動について歌や体操を交えつつ楽しく発表していただきました！



いきいきポイント登録者
大塚 恭弘氏



倉敷たすけあい事業
協力会員
横山 幸子氏



スポーツ推進委員
三宅 香氏



ご活用ください！ 『通いの場』ガイドブック

『通いの場』ガイドブックは、倉敷市社会福祉協議会ホームページからも電子版が、ダウンロードできます。

<http://kurashikisyakyo.or.jp/welfare/zaitaku/saron/>



問合せ先：倉敷市社会福祉協議会地域福祉課（☎086-434-3301）

『通いの場』 活動事例紹介

うみねこサロン（玉島黒崎）

大きなうみねこから、小さなうみねこまで世代を飛び越えて、みんなで明るく声を掛け合いたい。

海に面した南浦(なんぼ)憩の家で、毎月開催している「うみねこサロン」。うみねこの鳴き声のように元気よく、明るくおしゃべりや笑い声が響きます。南浦小学校の懐かしい校歌をアレンジしたうみねこサロンの歌をみんなで歌います。



手芸をしたり、レクリエーションをしたりと、うみねこの鳴き声のように元気よく、明るく、おしゃべりや笑い声が響きます。



▲ハンカチを使った手芸の作品
【ハンカチダリア】



▲レクリエーションはいつも大盛況。ついつい夢中に。

- なんぼ
- ☆開催拠点：南浦憩の家
 - ☆参加人数：平均15人
 - ☆活動の回数
月1回(毎月第4金曜日)
13:30~15:30
 - ☆参加対象者：高齢者中心
(世代を問わず誰でも参加可能)
 - ☆参加費：毎回100円
(食事会の場合実費を集合)
 - ☆内容
おしゃべり、料理、食事会、
手芸、レクリエーションなど
 - ☆共通目標
「みんなが主役！」

くすのきサロン（木見）

井戸端会議をもう一度、暮らしのなかに作りたい。「くすのきサロン」は地域の声が集まる居場所。

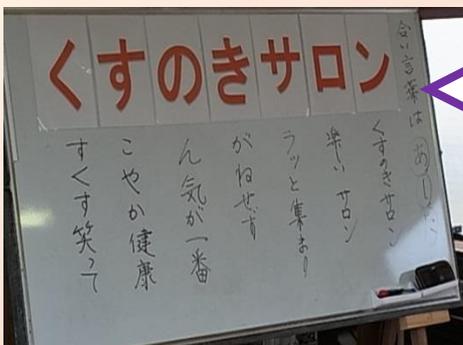
「自分が年をとった時、地域で集える場所があったらいいな」という声から生まれたのが「くすのきサロン」です。日々の暮らしが感じあえる場所、地域の困りごとや声を発信する場としても期待が集まっています。



▲誰かが一生涯を支えるサロンではなく、みんなが無理なく、いつまでもゆるやかな雰囲気が続いていくサロンづくりを目指しています。



- ☆開催拠点：大賀公民館
- ☆参加人数：平均15人
- ☆活動の回数
月1回(毎月第2木曜日)
10:00~11:30
- ☆参加対象者
木見地区の高齢者
- ☆参加費：無料
- ☆内容：おしゃべり、体操など
- ☆共通目標
「無理なく 長く！」



くすくす笑って
すこやか健康
のん気が一番
キがねせず

▲「くすのき」サロンにはこんな素敵な意味が含まれています。